



調布市議会議員、大河みとこの議員活動レポートです。市民と市政の架け橋となるべく奮闘中です。是非お読み下さい。

無所属・3期目  
元気派市民 大河みとこの市議会レポート

12月議会

# みみチャンネル

## NO.51

2006年 新春号

元気派市民とみとこの会  
〒182-0011

調布市深大寺北町1-31-1

Tel&Fax 0424-88-4137

<http://www.genkiha.com/>

### 主なニュース

- 議会レポート 疑問の多い仙川音楽・芝居小屋（仮）施設建設へ・・・P 2 - 3
- 特集 このまちのツボ 地域・高齢者・障害者の福祉計画・・・P 4 - 5
- 元気派の一般質問 市長は公約の実現に向け経営の改革と人材育成を・・・P 6 - 7
- 元気派ひろば 元気派収支報告 / 元気派ミーティングのお知らせ・・・P 8



調布市議会議員 大河みとこ

市制施行五十周年・市民提案事業として市役所前広場に「五十一本のクリスマスツリー」が十二月十一日から二十五日まで飾られていました。この企画は、調布市が市民と共に成長してきた事をお祝いする五十本と、より住みよいまちになるようお願いを込めて未来に向けた一本、合わせて五十一本のツリーを市民が作るものでした。この期間、市役所前広場が市民広場に。最終日、ツリーに囲まれた中で無心に踊る子ども達の姿に、「協働のまちづくり」は皆で触れ合う一歩から始まることを実感しました。昨年は胸が痛む事件の連続で、子ども達に対する大人の責任を痛感した年でした。市民の声が届く「安心して暮らし続けられるまちづくり」と「子ども達が未来に大きな希望が持てるまちづくり」をめざし、私は今年も尚一層努力をしてまいります。

子ども達が未来に大きな希望を持てるまちづくりを



みとこの今年もがんばるぞ!! (今年の抱負) >



- 1. 財政の徹底チェックと提案** 決算で出された意見が予算に十分反映されるように、調布の財布の徹底チェックとコスト意識の浸透に努力し、より効果的な税金の活用を提案していきます。
- 2. まちづくりの主役は市民** 調布方式の市民参加のために策定された「市民参加プログラム」がまだまだ活かされていません。市民の主体的行動を支えるプログラムが機能するように提案していきます。
- 3. 市民にわかりやすい市政実現へ** 市民参加型市政の基本は情報共有ですが、まだ道半ばです。協働のまちづくりを進めるため、「より迅速な情報提供」についても提案していきます。
- 4. 調布の福祉・教育・環境への提案** 様々な検討会を傍聴し学習してきた経験を生かし、行政が取り組むべき重要課題である諸問題（バリアフリー政策、健康政策、環境や生活についての実体験学習など）を具体的に提案していきます。

今年も知り合いの子ども達が次々に成人に。眩しいばかりの成長ぶりに自分の成長はどうかと反省しきり。(みとこ)

# みとこの議会レポート

## 総額約十二億円余、多くの疑問を残したまま仙川複合施設建設が賛成多数で決定！



平成十七年調布市議会  
第四回定例会  
十二月五日～十六日(十二日間)

### 平成十七年度一般会計補正予算

(賛成多数で賛成)

元気派市民の会・反対



【元気派の意見】本補正予算は、仙川の音楽・芝居小屋を含んだ複合施設事業関連の費用が含まれている。この事業では実施計画にはない七億円余の用地もすでに取得している。十六年十一月に出された音楽・芝居小屋検討委員会報告書には、「管理運営や事業に関する議論が尽くされていない。検討を重ね、施設にふさわしい魂を入れる努力を」とあるが、市民を巻き込んだ具体的な動きもない。疑問の残る緊急性に乏しい事業を含んだ予算に反対した。

(賛成多数で可決)

元気派市民の会・反対



調布市音楽・芝居小屋(仮称)、調布市仙川ふれあいの家及び調布市立仙川保育園新築工事請負契約、新築に伴う電気設備工事請負契約、新築に伴う機械設備工事請負契約

【元気派の意見】総請負契約金額は十二億円余。議会では、事業の凍結、土地購入に当たつての疑問の声も出された。市民から施設建設への疑問の声もあり、市民的な盛り上がりもない。施設運営に関し魂を注ぐ市民の作業をじっくりと並行して行わなければ、「文化を育むまちづくり」「地域の活性化」等、市民文化芸術活動の支援といった設置目的になつた施設に育たない。肝心の作業も進まない中で契約に反対した。

### 調布市議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

(賛成多数で可決)

元気派市民の会・反対



【元気派の意見】調布市特別職報酬等審議会では、議員報酬は据え置きとの判断だったが、人事院勧告に沿った職員期末手当の見直しに合わせて条例改正すると、職員は約四万円の減、一方議員は三万三千円の増だ。市内の経済状況が厳しい折、期末手当の支給割合を上げる改正には反対した。

(賛成多数で可決)

元気派市民の会・反対



調布市八ヶ岳少年自然の家・調布市総合体育館・調布市グリーンホール・調布市文化会館たづくり各施設の指定管理者の指定について

【元気派の意見】指定管理者制度は公平・透明性が確保されている公法上の契約ではなく、あいまいな「協定」で成り立っている事から議会の議決が重要になつてくる。八ヶ岳少年自然の家は公募

で、四社の応募があつたが、議会へは最終候補者の事業計画書しか提出されない。公金支出にかかわる事項は、審査の透明性が求められているが、選定審査委員会の判断した資料に頼り判断するしかない状況で提案された候補者の指定は難しいと認識し反対した。一方、たづくり、総合体育館、グリーンホールは公募せず現在委託している各団体が指定管理者候補だった。民間活力導入がねらいの指定管理者制度を活用して公募しないのは契約で言えば随意契約に近いものになる。高額の随意契約は公契約ではよほどの理由がなければ存在しない。公募せず公的団体を指定する場合は透明性、中立性、公平性の観点からも実施プロセスが問われる。選定委員会メンバーには利用者代表も含まれておらず、候補団体は市の行革プランで求められている経営改善計画も作成していない。事業計画には稼働率やサービスの向上への具体的な数値目標や方法の記述も少なく審査委員からも改善を求める多くの意見が出されていた。このような現状では、候補者が最も市民益になつていないか判断できる状況にない事から、早急な経営改善計画の公表と、制度の運用に慎重な取り組みを要望し反対した。

調布市深大寺南町三丁目通称明治  
大学野球場マンション建設計画に  
係る、建築物の高さ制限を定める  
高度地区(案)の速やかな発効及び  
用途地域地区指定の速やかな変更  
を求める件に関する請願

満場一致で趣旨採択

元気派市民の会・賛成



【元気派の意見】四月からの二十五  
メートルの高さ制限施行直前、明大野  
球場に大規模な一五階建てマンション  
建設計画が起きた。地域環境を著しく  
破壊する建設に多数の署名を結集した  
請願の趣旨は理解できると賛成した。  
市および周辺地域と長年の協力関係に  
ある大学が、地域環境に配慮した売却  
をできなかったのが残念でならない。

憲法九条の改定に反対する  
意見書について

賛成少数で否決

元気派市民の会・賛成

(チャレンジ調布21退席)



【元気派の意見】憲法改正が論議さ  
れているが、そもそも市民のくらし  
を守る事が議会の役割。日本が平

和を維持する考えを明確にして人災  
である戦争を回避することこそ重要  
だと考える立場から賛成した。

全員協議会報告

十一月十三日、市長から議会に対し

て新ごみ処理施設整備基本計画(素案)  
説明と質疑が行われた。深大寺東町七  
丁目のふじみ衛生組合用地二・六ヘク  
タール、施設規模一日あたり約三・四  
トン程度へ決定した過程、市長の選挙  
公約と結果の乖離についての説明責任  
などが問われた。建設費約一五〇億円、  
運営費一〇五億円、灰処理費七六億円  
程度かかる施設建設には特に地域の意  
見が反映される事、またごみ減量は環  
境負荷の軽減、建設、灰処理コスト減  
にもつながり全市民の当事者意識を育  
てる点からも数値目標を示す努力を強  
く要望した。先の選挙でふじみへのご  
み焼却施設白紙撤回を挙げた市長に対  
し、私は地域在住議員という立場から  
も、不可欠な施設建設という観点から  
地域住民へのお詫びと説明責任をどの  
様に考えているか問うたが、最後まで  
あいまいだった。ごみ問題の公の節目  
となる場にもかかわらず、市長の誠実  
さを欠く態度は大変残念だった。

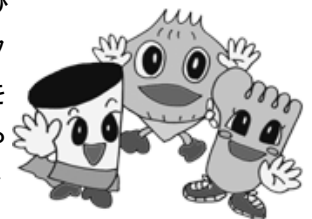
厚生委員会視察報告 岐阜県多治見市、愛知県津島市、奈良県奈良市 10/19 ~ 21

多治見市：健康づくりプラン



子ども向け禁煙紙芝居の説明を受ける

多治見市(約11万人)では、平成14年から10ヶ年のたじみ健康ハッ  
ピープランを策定。優先課題に「食生活」「運動」「喫煙」を選定、市民の生  
活習慣改善のポイントについて年代別に目標を示し、目標を持って取り組め  
るように工夫している。野菜を多くとるよう呼び  
かける「パッくん」、歩くことを勧める「テクテク  
くん」、禁煙にチャレンジする「スワンちゃん」を  
イメージキャラクターにして、献立カードや



ウォーキングマップ等を作り生活に反映できる内容に感心した。特にキャラ  
クターを活かした紙芝居を子ども達への禁煙教育に役立てている事業が印象に  
残った。この3つのイメージキャラクターが活躍中!

奈良市：音楽療法

奈良市(約37万人)では、健康づくりに音楽療法  
を取り入れている先駆的自治体。心と体を癒すために  
音楽療法は大変効果的な手法だと理解できた。地域で  
音楽サロン等の広がりもあるが、工夫をすれば音楽療  
法は健康政策の重要な柱になると再認識した。



津島市：わざ・語り・伝承・生きがい活動  
について

津島市(約6万7千人)では旧図書館を改修、  
元気な高齢者づくりを目指し事業展開していた。  
介護予防事業は拠点があれば市民は健康管理に  
積極的に取り組む事がよくわかった。

友人の宝塚市議の紹介でタイの子ども達を支援するボランティアグループと共に初めてアジアの国に行く。輝く瞳の子ども達から沢山の元気と自分への課題をもって帰国しました。(みとこ)

みとこの活動日誌

- 10月 1 「新ごみ処理施設」検討対象地の評価結果説明会・布田老人憩いの家まつり・男女共同参画の推進に関する検討会傍聴
- 5-7 全国都市問題会議（高松市）
- 7 住民自治基本条例に関する市民懇談会傍聴
- 8 市川房枝記念会政治参画セミナー
- 8-9 全国自治体議員行財政自主研究会
- 11 飛田給小30周年記念式典
- 12 広域交通等対策特別委員会・環境基本計画傍聴
- 13 議会だより委員会
- 15 調布市文化祭開会式・男女共同参画の推進に関する検討会傍聴・消費者まつり
- 18 高齢者総合計画推進モニター部会傍聴
- 19 交通バリアフリー基本構想策定委員会傍聴・障害者計画策定委員会傍聴
- 22 武蔵境通り住民協議会・明大グランドマンション建設説明会
- 24-26 厚生委員会視察（奈良、多治見、津島）
- 28 住民自治基本条例に関する市民懇談会傍聴
- 29 北部公民館文化祭・深大寺地域福祉センターコミュニティ祭・新ごみ処理施設整備に係わる処理方式選定委員会傍聴
- 11月 2 第四中40周年記念式典
- 4 緑ヶ丘小40周年記念式典
- 6 調布市制50周年記念式典
- 7-14 タイ国へボランティアグループ（子供の支援グループ）同行、学校訪問等
- 16 環境基本計画策定委員会傍聴
- 17 調布飛行場特別委員会傍聴
- 18 障害者計画策定委員会傍聴
- 19 新ごみ処理施設整備に係わる処理方式選定委員会傍聴
- 20 市民センター関連タウンミーティング明大グランドマンション建設説明会
- 22 議会報告会・元気派学習会
- 23 「朔へ調布」ワークショップ参加
- 25 環境保全審議会・幹事長会・市住民自治基本条例に関する市民懇談会傍聴
- 27 調布飛行場管制官撤退に関する都説明会
- 12月 1 議会運営委員会
- 3 男女共同参画の推進に関する検討会傍聴
- 5-16 12月議会開会
- 10 市川房枝記念会政治参画セミナー
- 11 51本のクリスマスツリー点灯式
- 13 高齢者総合計画推進モニター部会傍聴
- 16 住民自治基本条例に関する市民懇談会傍聴
- 17 PTA連合会50周年記念式典・明大グランドマンション建設説明会
- 23 新ごみ処理施設整備基本計画（素案）説明会・TJネットワーク交流会
- 29 男女共同参画の推進に関する検討会傍聴

活動日誌にあるように様々な計画策定、検討会の傍聴をしています。市報が届くと、「お知らせ」を読み日程表に書き込むのが大事な習慣になっています。（みとこ）

調布市 このまちのツボ 第6弾

今、ココを押さえておけば、調布市の未来は開かれる！

今回は、「地域、高齢者、障害者の福祉計画」です。

平成17年度は、地域福祉計画、高齢者総合計画、障害者計画の3計画が同時に改定の検討をしているよ。

地域福祉計画って？

地域の福祉を推進するための計画で、高齢者総合計画、障害者計画、次世代育成支援行動計画等の基盤になるものよ。

高齢者総合計画って？

介護保険事業計画と老人保健福祉計画を合わせた、高齢者施策の総合的な計画。介護保険の第1号（65歳以上の者）保険料の見直し、新しいサービスの開始等、要注目！

障害者計画って？

障害者自立支援法が成立。身体・知的・精神の障害種別に関わらず、共通のサービスを提供することが求められるなか、地域生活を支援する基盤の整備等、障害者施策推進における市の役割がますます大きくなっているのよ。

各計画は、地域福祉推進会議、高齢者福祉推進協議会内に設けた三つの部会（高齢者総合計画推進モニター部会等）、障害者計画策定委員会で、公募による市民を含めた委員が検討を重ねています。傍聴もできますよ。

元気派だより

学習会報告 「調布市民健康づくりプラン」について

平成17年11月22日（火）文化会館たづくり

調布市福祉部健康課の課長より、調布市民健康づくりプラン（平成17年度～22年度）について説明を受けました。



健康で長生き

平均寿命の伸びとともに、病気の種類も生活習慣病が中心となり、介護が必要な人も増加。生活習慣病を「早期発見・早期治療で治す」ことから、一歩進めて、「病気にならないようにする」ためへの取り組みです。

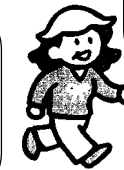


健康づくり 始める 続ける 楽しんで

気軽に始めて、「楽しいことをしていたら、いつのまにか健康になっていた」...そんな健康づくりを目指しています。

3つの目標

- 元気で活動的に暮らす
- 心豊かな質の高い生活を送る
- 自分なりの健康や幸せを実感して暮らす



6つの分野で目標を設定

- 栄養・食生活
- 身体活動・運動
- 休養・こころの健康
- たばこ・アルコール
- 歯と口腔の健康
- 子どもと家族の健康

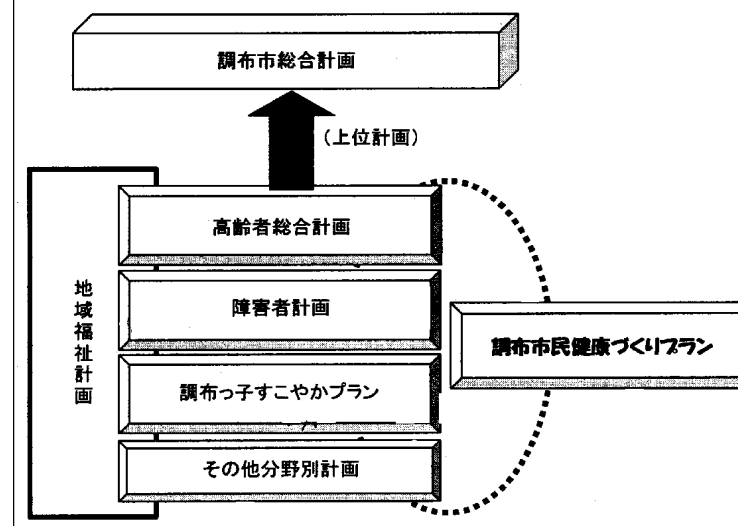


地域全体で健康づくりを推進

個人の取り組みだけでは限界があり、市民、行政、健康づくりにかかわる団体・企業が一緒になって、健康を支えあう仲間づくり、健康を支援する環境づくり、情報提供が実現するような基盤づくりをします。健康づくりを始めるきっかけをつくっていく、「始める」委員会も立ち上げ準備中です。



《健康づくりプランと各分野別の計画との関係》



調布市健康づくりプランより

健康課の14名の保健師は地区別に担当をして、身体や心の健康に関する相談や、地域での学習会等をしているとのこと。参加者からは、「保健師が積極的に地域に向き、相談・学習会等を定期的で開催してほしい」「学習会で学んだ人が、次は教える側になって次々と健康づくりが広がっていくような仕組みづくりが大切だ」「予防だけでなく病気になった際の対応も考えてほしい」等の意見・要望が出ました。

プランの詳しい内容は、図書館や調布市のHPでご覧になれます。

長野にお正月帰省する。大雪による被害の報道を耳にした後、吹雪が続く家で一日だけ過ごしたが、日々降雪が続く不安はいかばかりかと思いましたが、（みとこ）

調布を離れた友人と佐須の田んぼの収穫祭で会うと「調布の自然環境は素晴らしい、いつか戻ってきたい」との言葉。まちに残された貴重な財産、大切にしたいな。(みとこ)

# みとこの一般質問



## 市長任期総仕上げの時期、公約の実現に向け経営の改革と人材育成を

十月四日に十八年度の行財政運営基本方針が示されましたが、これは市長の公約を実現するための任期総仕上げの方針といえます。十七年度の基本施策では「コンパクトシティー」という概念に着目しています。これは環境問題を重視し、無秩序な開発を否定した上で、生活空間の確保であり、そのための自治の進展なども挙げています。しかし現状では、明確な戦略が掲げられずに今日に至っています。地方分権が進むなか、市民ニーズが多様化し、先が見えない時代には、自治体としての意志を明確にして組織の強化を図っていく必要があります。後期基本計画の策定作業に入っている今、市長は自治体経営の舵取り役として経営能力をいかに発揮するかが問われています。

### 1. 「計画、行革、予算」一体的な自治体経営へ改革を求める

(1) 十八年度基本方針は、市長の経営理念実現のために必要な組織のあり方が前提にあつて提案されたものと認識する。その理念を職員が共有することにより作成された制度や仕組みが一貫性を持ち、職員のやる気と顧客満足度の好循環が起ってくる。十七年度行財政基本方針の評価が十八年度の方針にどう生かされたか。市長の経営理念を問う。

【市長答弁】 市役所機能の強化と職員の意識改革が重要。実施計画や行革プランの最終年度、総仕上げに向けて全庁一丸となって取り組む。

(2) 一般財源枠配分方式は「計画、行革、予算」一体的な自治体経営を目指す取り組みのひとつ。しかし現行の組織では、予算と政策は密接に関連する作業にもかかわらず、両部門からの調整に時間を要す。事業の判断基準も政策室主導では予算面からは認識されにくい。本格的導入にあたっての課題は何か。

【辻本財務部長答弁】 部門横断的な調整機能確保などの課題を解決し、行政評価と一体となり現場主義による体制を確立、市民サービス向上に努める。

(3) 市長は各部署への庁内分権(権限の委譲)を推進しているが、より機能するためには、人事も大事な問題。明確な経営方針に沿った組織として機能することが重要。庁内分権推進の基本的考え方と今後の課題は何か。全体の進行管理のあり方をどう認識し体制強化を図るか。時限的組織改革は行うのか。

【市長答弁】 当面は関係規定の変更はせず、各部門による人事配置について具体的に検討。

(4) 現在、多くの基本計画策定作業が進められている。担当職員の努力は評価するが、計画を作ることにエネルギーを使いすぎると実施、評価、改善の余裕が無くなり、評価に追われて市民と向き合う時間がなくなるようでは困る。時代の変化の中で自治体経営のマネジメントサイクルを見直すしくみを持つこと

とも大事。どう認識しているか。また、施策実現に向けて横断的に機能する組織が求められている。ハード、ソフトの両面からアプローチすることで真に人にやさしいまちづくりが推進できる。次年度に向けて、時代にあつた柔軟な組織整備をするための具体的な組織改革をするのか。

【大橋政策室長】 常に見直すための仕組みも検討。横断的な施策も柔軟で機能的な組織で対応する。

### 2. 自治体経営における人材育成について

変革の時代、自治体経営を担う職員に必要とされる能力は多岐にわたるが、あるべき姿が明確でないと効果は上がらない。人材育成の具体的取組について問う。

(1) 人材育成基本方針では、「市民ニーズに的確に応える」「自己を磨く」「事務の効率化を図る職員になる」という三本柱が掲げられているが職員育成の基本的考え方は何か。基本方針の進捗状況と職員の問題認識から見えてくる課題は何か。



木島平村のアンテナショップ「新鮮屋」は私の好きなお店のひとつです。最近は鬼ぐるみを見つけてうれしくなりました。子どもの頃食べた味と一緒に。(みとこ)

【大浦総務部長答弁】固定観念から脱却し、意識改革をすすめ、時代に即した職場風土を作る。十六年度研修満足度は八十三%だが、市民満足度を高めなければ研修効果に結びつかない。今後は実践研修などの継続のほか、市民講師による研修も検討。

(2)後期基本計画策定に向けたタウンミーティングが開催され、職員が市民との協働のまちづくりを実践し報告書が公表されたことは評価するが、意見の分類で終わることなく、分析して施策に反映できる能力の向上を図る研修も必要。庁内の意識改革への取り組みはするのか。市長公約では積極的な女性政策の推進を提唱してきたが、現状では女性管理職の比率も職域も狭い。女性職員の幹部登用へのしくみの工夫など新しい発想

に立った動きも必要。専門職の職域拡大での人材の生かし方も大事。どう取り組むのか。

【大浦総務部長答弁】新たな発想や価値観を取り入れた行政運営が組織の活性化につながり、サービス向上にも寄与すると認識し、子育てしやすい職場環境の整備を図る。管理職試験の受験率向上を期待しつつ、職場環境の改善、意識啓発を行う。

再質問

行革プランは実施計画を可能にするための財源確保のプラン。残り少ない任期での実現は難しい。全庁一丸となって推進するとは具体的にどうするのか。

【市長答弁】それぞれの課題を迅速適切に処理するため現行組織を超えて柔軟に横断的、機動的な対応をする。

行革プランの進捗状況は十六年度の内容しかなく、十七年度の評価が十八年度にどう生かされたか情報の共有という視点からも確認したい。

【市長答弁】取り組み状況について可及的速やかに示したい。

職場環境の整備とは、政策方針決定過程における男女共同参画を解決するためという大きな視点に立っていると受け止めるが良いか。

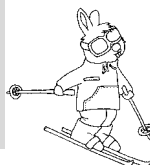
再々質問

任期一年を切った今、例えば行革本部といった積極的な組織でより果敢にやっていくという認識でよいか。

【市長答弁】それはよい提案。あらゆることを視野に入れて検討する。

行政評価は可及的速やかという答弁だったが、時期の設定を明確にしなければ結果は出ない。市長が描く、行政は地域経営だという認識を全体のものにするためにも、部を超えて議論するプロセスを強く要望した。その積み上げが市民ニーズに沿ったサービスの実現へとつながる。また、右肩上がり

の行政スタイルから、選択と集中を認識した行政経営にシフトしなければ自治体経営が立ち行かないとの認識を示したとおり、市債バランスではなく収支バランスを基本にする考え方を再確認した。加えて、財政規律の確立を念頭においた一層の努力をあわせて要望した。任期総仕上げのこの時期、公約実現に向けて経営方針を明確にし、早急な経営改革と人材育成を強く求めた。



傍聴記

今年最後の定例議会最終日に私は初めて議会を傍聴致しました。本会議場は予想以上に立派で、ひな壇風に設置された傍聴席の空席が市民として自省の念も込めて、勿体なく残念に思いました。議案上程から始まり、採択は各議員の起立による事を初めて知りましたが、その議論の可否は既に決定済みで討論も事務的に書面を読み上げ、起立も形式的なものに感じてしまいました。その様な中で、大河議員の異議申し立ては、とても的確で鋭い指摘にもかかわらず、その問題点に対するの討論も膨らまず、数の論理で何度も埋没してしまい空しい気持ちで一杯でしたが、凛としたその姿に並々ならぬ精神力の強さを感じました。 深大寺南町 磯野幸子

元気派市民とみとこの会 2005年度収支報告

日頃より当会の活動に対し、格別なるご支援をいただき、感謝申し上げます。2005年度は、議会報告会、会報発行、地域課題を取り上げた学習会などの活動を継続的に行ってまいりました。昨年は大幅な赤字決算でしたが、今年度は、会費・寄付収入が増え、大きな備品の購入がなかったため、収支を均衡させることができました。今後とも、市民の皆様の参画により、自立した活動を続けていきたいと思っておりますので、より一層のご協力をお願い致します。

元気派市民とみとこの会2005年度決算

収入		支出	
会費	247,000	会報発行	1,310,229
寄付1	2,185,789	事業費(学習会等)	44,061
バザー他	112,855	備品消耗品費	101,417
寄付2	150,000	人件費	363,750
		事務所費	879,657
当期収入合計	2,695,644	当期支出合計	2,699,114
収支			-3,470

<注記>

会費：247口

寄付1：会員および賛同者からの寄付と大河議員からの寄付150万円

寄付2：学習会費用等に大河議員の議員報酬値上げ分(平成7年12月議会条例改正により)を充当(政治資金管理団体を通して)

バザー：1回開催

会報発行：年4回発行

学習会：4回、講師を招いて開催

議会報告会：4回

元気派ミーティング  
学習会 & 議会報告会



福祉3計画が策定されるなかで18年4月から介護保険関連の新しいサービスも始まりますが、一方で保険料の改正(値上げ)も検討されています。12月議会の報告に併せて、市職員を講師に迎え、新しい福祉の動きについて聞く会を行います。お気軽にご参加ください。

2月16日(木)  
午後7時~9時  
文化会館たづくり302号室

市制施行50周年市民提案事業  
「51本のクリスマスツリー」



市役所前広場で2週間、市民の心を温かくしてくれたツリー達。ありがとう!!

元気派ひろば

次の議会は三月三日頃からの予定です。大河みとこは代表質問を行います。是非傍聴に行きましょう。詳しくは議会事務局にお問い合わせ下さい。(TEL0424-81-7291)

編集後記

編集作業の終盤に少しだけ参加できた。やっといつも「年の初め」を実感！感謝と向上心の年にしよう。(ちえみ)

今年も慌ただしく年が明けた。星占いは最悪でも元気で明るく生きていこう！(ちはる)

新しい年、目標に向かって、一歩前へ！(マサコ)

今回こそ大切にできない！ドキドキだったのにな。みんな、凄い！(まさこ)

新年早々の編集作業、いつもながら総力あけて締め切り日をクリアした。今度はホームページ更新だ！(みとこ)

伝言コーナー

みみチャンネルをお近くの方に配って頂ける方を募集しています。事務所までご連絡下さい。  
TEL0424-88-4137  
Eメール genki@genkiha.com  
ガレッジバザー  
三月三日(金)十一時~十五時  
雨天の場合は四日(土)深大寺元町三の三十九の十一 梅原宅にて。(だるま市の日、深大寺入り口 昆布屋さんの裏。)

元気派市民とみとこの会会員大募集!

当会は市民による調布のまちづくりを目指して活動しています。みなさんも当会に入会して、これからはずっと住み続けたいまち・調布にしていきたいと思います。



会費(年)一口1,000円 何口でも結構です！  
会費及びカンパは郵便振替にても受け付けております。  
口座番号 00180-5-577951  
加入者名「元気派市民とみとこの会」

- 次の活動を行います
- 1 懇談会、講演会の開催
  - 2 会報、パンフレットの発行
  - 3 その他

「みみちゃんね」購読のみ希望の方も事務所までご連絡ください。



古紙配合率100%再生紙を使用しています。

谷川俊太郎さん自身による詩の朗読をこの法人主催の「ことばってふしぎ」に参加して聴くことが出来た。言葉は生きものを実感。(みとこ)